

全日本学生バドミントン連盟会員各位

日頃から全日本学生バドミントン連盟の活動にご理解とご協力をいただきまして感謝申し上げます。

さて、運営本部（競技部）から提案（2024.6.28.付）のありました「全日本学生ミックスの組み合わせ基準のシード枠数変更」について、Web 総会（メール審議）を開催して審議しました結果、定足数および表決数ともに規定数を満たし、全員「賛成」との結論に達しました。

したがって、**令和6年度から「全日本学生ミックスの組み合わせ基準」を「シード枠を16枠から32枠」と変更して、組み合わせ基準内規を運営本部総務部において改正いたします。**

今年度（令和6年度）全日本学生バドミントン選手権大会開催の主管学連（関西学連）および来年度以降開催の主管学連におかれましては、変更点にご留意いただき準備を進めていただきますようお願いいたします。また、各地区学連では会員の皆さんへの周知をお願いいたします。

2024.7.9.

全日本学生バドミントン連盟

会長 北見正伸

全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会 組み合わせ基準

令和6年7月9日
全日本学生バドミントン連盟

全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会は、現行の公益財団法人日本バドミントン協会大会運営規程第5章第28条～32条を適用し、シード決めは原則として次の通りとする。

シードを選出する際はポイント制で行う。尚、ポイントの配点は下記表の通りとする。

表. 直近大会の順位による配点表

	優勝	準優勝	ベスト4	ベスト8	ベスト16	ベスト32
インターハイ	150	110	70	30		
インカレ (ミックス)	450	400	320	240	160	80
インカレ (シングルス)	200	160	120	80	40	10
インカレ (ダブルス)	250	210	170	130	90	30
全日本総合	1000	800	600	300	100	
ランキングサーキット	700	500	300	100	50	

1. 次の①～②により、1～32までシードする。ただし、準決勝・準々決勝が昨年度と同じ対戦は避けるものとする。

①上記表のポイントに基づき、男女の合計ポイントの高い順に1～32までシードする。

②シードが埋まらない場合は、3. 自動抽選

2. 各地区から推薦により出場している組のうち、各地区の参加組数の比率を基に、下位から「関東3組・関西3組・中部・北海道・東北・中四国・九州各2組の計16組」を選出し、第1から第8のシード下に入れる。シード下の位置は抽選により決める。シード下の極端な不都合は、抽選組間で入れ替える。

※推薦者 東日本 16組 (北海道 4組・東北 4組・関東 8組)

西日本 18組 (中部 4組・関西 6組・中四国 4組・九州 4組)

3. 以降自動抽選

4. 日本バドミントン協会の要請で各種大会に派遣される場合及びその他の特別な理由により、該当選手が上記シード基準に適應されない場合は、そのシードについて考慮す

る場合がある。

- ★①上記表で合計ポイントを計算する。(ミックスのみ他大学とのペアリング可とする)
- ② 1人に各大会の中で一番高いポイントが与えられる。パートナーと2人の合計点がミックス1組のポイントになる。
- ③同ポイントの場合は、抽選によりシード順位を決定する。
- ④推薦者のポイントは無し。
- ★各地区学連から推薦された選手が、ポイント保持者とペアを組んだ場合は、その人数を繰り上げし、各地区学連推薦枠はそのままの枠数とする。
- ★1回戦は、昨年度と同一対戦は避ける。
- ★4ブロック内での地区バランスを考慮する。
- ★関東と関西の地区バランスは、極端な偏りを除き原則として考慮しない。

以上

【組み合わせ会議の効率化】

※大会の主管学連は、組み合わせ会議当日までに組み合わせ原案「1案：32シード」を準備する。

- ①上記の基準に沿って「シード決」及び「シード下決」を行い、アサミ大会運営ソフトに入力を完了しておく。
- ②シード内での「組み合わせ検査」を完了しておく。
- ③原案作成手順を「説明資料」として添付する、特にシード内での変更が生じた場合は理由を明確に記載すること。

※最終案を基に自動抽選後の★印等を調整して組み合わせを確定する。この際、上記基準以外のバランス(パワーバランス等)は極端な場合を除き、原則として調整はしない。

※抽選はコンピュータでランダム関数を使用してもカードやダイス等を使用しても数学的確率は同等である。→原案作成方法(ランダム関数 or カード)は主管学連の判断による。

全日本学生バドミントン選手権大会

ミックスダブルス組み合わせ基準内規改正

改正趣旨：

従来、全日本ミックス大会は別日程で行われ、16 シードで組み合わせを作成していた。

しかし、今年度より全日本学生選手権として個人戦の日程が統一されるにあたりシングルスとダブルスの組み合わせ基準の 32 シードでミックスの組み合わせ基準を統一したため。

旧
【個人戦の組み合わせ基準（ミックス）】
1. 次の①～②により、1～16、までシードとする。ただし、準決勝・準々決勝が昨年度と同じ対戦は避けるものとする
①上記表のポイントに基づき、男女の合計ポイントの高い順に 1～16 までシードとする。
②シードが埋まらない場合は、3. 自動抽選
新
【個人戦の組み合わせ基準（ミックス）】
1. 次の①～②により、1～32、までシードとする。ただし、準決勝・準々決勝が昨年度と同じ対戦は避けるものとする
①上記表のポイントに基づき、男女の合計ポイントの高い順に 1～32 までシードとする。
②シードが埋まらない場合は、3. 自動抽選